

HUBSAN X4 CAM PLUS

2.4GHZ RC SERIES 4 CHANNEL ● ハブサン エックスフォー カムプラス



日本語取扱説明書

目次

1. はじめに	02
2. 安全の為のご注意	02
3. 使用前のセーフティチェック	04
4. Lipoバッテリーの充電方法	05
5. 送信機操作説明	06
6. フライトを始める	09
7. カメラの使い方	10
8. アドバンス設定	13
9. プロペラ交換方法	17
10. 分解図	18
11. トラブルシューティング	20
12. スペアパーツリスト	23

1 はじめに

この度はHitec HUBSAN製品をご購入していただき誠にありがとうございます。

本機体は優れたセンサーにより安定したホバリングが可能です、そのため本機体は少しの練習で初心者の方にもすぐに飛行を楽しんでいただけます。

また、安定性だけでなくフリップのようなアクロバット飛行や、運動能力の高いエキスパートモードも備えておりますので、フライトレベルを問わず多くの方楽しんでいただけるよう設計されております。

ご購入頂きましたお客様に重要なお願い

ご購入頂いた際の日付入りレシートや納品書は初期不良交換をさせて頂く場合に必ず必要となりますので、必ず保管くださいますようお願い致します。

当製品は製品の性質上、ご購入直後の動作確認時に認められる不良以外、返品・交換はお受けすることが出来ません。また、修理ご依頼につきましてはお受けすることができませんので、あらかじめご了承ください。

2 安全の為のご注意 (必ずお読み下さい)

1. 当製品の対象年齢は15歳以上となっています。15歳未満のお子様には使用させないで下さい。また、お子様の手の届く場所に保管しないで下さい。
2. 飛行に慣れるまでは広い場所での練習をお奨めします。風の影響を受けますので、微風以下の環境で練習して下さい。
3. ローターは回転して大変危険です。飛行中は人の顔や手に回転物が接触しないように安全に飛行させて下さい。特に見物人にご注意下さい。
4. 本製品は室内専用モデルです。屋外では風の影響で正常に飛行出来ません。室内でもエアコンなどの風の影響を受けます。
5. 飛行前に必ず機体に異常がないかを点検して下さい。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び危険です。また、激しい着陸や墜落の後は機体に異常が無いかを確認して下さい。
6. 飛行させないときは常に機体からバッテリーを取り外して下さい。そして保管中はお子様に触れさせないように注意して下さい。
7. 本機はLi-Poバッテリーを使用しています。この電池は取り扱いを誤ると発火等の危険な事態になる恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみ下さい。
8. 本機のLi-Poバッテリーは専用USB充電ケーブルでの充電と、機体での放電のみ可能です。それ以外の機器での充電や放電は絶対にお止め下さい。
9. 本機のLi-Poバッテリーの充電は高温や直射日光をお避け下さい。
10. 本機のLi-Poバッテリーの保管は金属ケースを避け、コネクタ端子がショートしないように保管して下さい。
11. 本機のLi-Poバッテリーを分解や改造をしないで下さい。
12. 送信機と機体、及びLi-Poバッテリーは絶対に水に濡らさないで下さい。
13. 本機は他の2.4GHzの無線LAN等のワイヤレス機器と同じ周波数の電波を使用しています。飛行する際は電波影響のない場所でお楽しみ下さい。
14. 当製品の性格上、お客様がご使用(飛行)になって起きました結果につきまして、一切の保証は致しかねます事をご了承下さい。



Lipoバッテリー 取扱い上のご注意 (必ずお読み下さい)

1. 取扱上の重要事項

- LiPoバッテリーを使用するにあたり、必ず正しい取扱い知識を習得してください。
- ご使用方法が正しい充電の場合でも、電池のコンディションなどにより発火する可能性があります。
- 充電は燃えやすいものが近くない場所で、目を離さないように行って下さい。
- 過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- 過放電を防ぐ為、電圧低下のサインやパワー感の低下が現れましたら使用はやめてすぐに充電して下さい。
- X4CAMPLUS専用USB充電器での充電のみご利用頂き、機体以外での放電は行わないで下さい。
- 本製品は模型用充電式リチウムポリマー電池です。他の用途には使用出来ません。
- 変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないで下さい。
- 電池パックを絶対に分解・改造しないで下さい。
- 過放電してしまったバッテリーはご使用頂くことができなくなります。放電し過ぎないようにご注意ください。
- LiPoバッテリーは消耗品となりますので、初期不良品以外の交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

- 充電中は離れずに常に監視をして、異常事態に対処して下さい。
- 万一充電中にリチウムポリマーバッテリーが膨れ始めたら直ちに充電を中止してください。(さらに充電し続けると爆発します) バッテリーを外して安全な場所で様子を見て下さい。
- リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電するだけで使用可能です。
- USB充電器で充電頂く際は電源を切っても微弱電流が流れるため、その状態で数時間放置すると過放電になってしまいます。
- 充電完了後は、バッテリーを必ずUSB充電器から抜くようにして下さい。
- 充電中は電池と充電器を不燃性の台の上に設置して下さい。
- 充電器は高温になりますので、火傷にご注意下さい。
- 充電が完了したら必ず電池を充電器から取り外して下さい。
- 充電前に電池をよく確認して、少しでも膨らんでいる場合は、ダメージを受けている恐れがありますので、絶対に充電(使用)しないで下さい。
- 充電は電池温度が0～35度の範囲で行って下さい。

3. 機体がクラッシュ(墜落)した場合

- 墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見て下さい。
- 強い衝撃を受け、内部構造が変形した電池や、被覆が破れた電池は使用出来ませんので適切に破棄して下さい。

4.電池の保管・保存

- 必ず丈夫なケースに入れて保管し、コネクタの端子間がショートしないように注意して下さい。
- 電池のラミネート被覆は絶対に穴を開けないで下さい。発火の恐れがあります。
- 保存可能温度は-20～60度ですが、性能を保つためには10～50度の範囲内の乾燥した場所に保存して下さい。25度での保存が最も性能劣化を防げます。
- 車内など60度以上の高温状態に放置すると発火する場合があります。
- 長期保存の場合、少なくとも1ヶ月に一度は充電→放電→保存充電を行い、性能を維持して下さい。
- 電池から液が漏れていた場合、直接手を触れないで下さい。
- 満充電で放置しないで下さい。気温が上昇した場合は電圧が上がリ、過充電状態になり電池が膨らみ危険です。保存する場合は50～70%程度の充電量で保存して下さい。(フル充電した状態から機体に搭載し2～3分程飛行させると保存に適した状態となります)

5.電池の運搬・廃棄

- 電池の運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬して下さい。
- 破棄する場合は放電した後に端子にショート防止のテープを貼り廃棄して下さい。
- 絶対に火の中に投じないで下さい。爆発します。
- 破棄は各自治体に問い合わせるか、リサイクル協力店にお願いして下さい。

3 使用前のセーフティチェック

フライト毎に必ず以下の項目をチェックして下さい

1. 操作をする前に、送信機と機体のバッテリーがフライトに十分な量まで充電されているか確認して下さい。
2. ローターブレードに異常がないか慎重に確認して下さい。
緩みや折れ曲がりのあるブレードは絶対に使用しないで下さい。
3. バッテリーがしっかりと本体に接続されているか確認して下さい。
正しく接続されていないと飛行中の振動で外れる可能性があります
4. 電源を入れるときは、必ず送信機の電源を入れてから機体の電源を入れます。
電源を切る場合は、機体の電源を切ってから送信機の電源を切ります。
この順番を守らないと他の電波により暴走の可能性がありますので大変危険です。

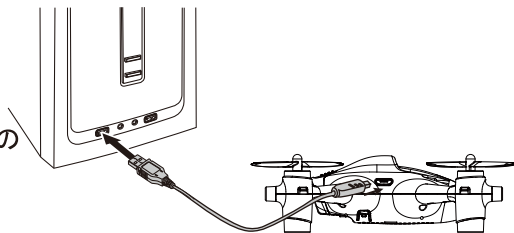
4 Lipoバッテリーの充電方法

X4のUSBコネクタに充電ケーブルを挿し、その後パソコンまたは他のUSB機器にケーブルを接続してください。

充電中はLEDが点灯し、完了したら消灯となります。

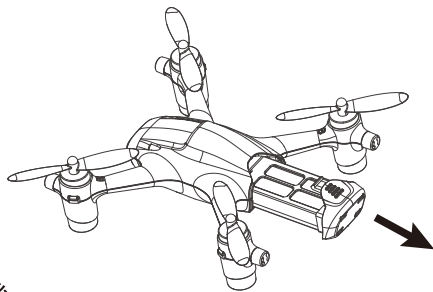
パソコンなど接続するUSB機器によって充電時間は異なります。

※ 1A以上の出力のあるUSB機器への接続を推奨します。



⚠ 安全に取り扱う上でのご注意

- 1) 保管をする際は必ず本体からバッテリーを抜いて下さい。
- 2) バッテリーを充電する際は必ず本体の電源を切して下さい。
- 3) 長期保管をする前は必ずバッテリーを充電後、2～3分程飛行させ電圧を少し落とした状態で保管して下さい。
Lipoバッテリーは比較的自然放電が少なく長期に電力を保持しますが、定期的に電圧のチェックを行って下さい。
- 4) リポバッテリーの電圧が規定内に保たれること無く過放電状態になってしまった場合は充電することが出来なくなります。
無理に充電する行為は膨張、破裂などの危険性が伴いますので絶対に行わないで下さい。



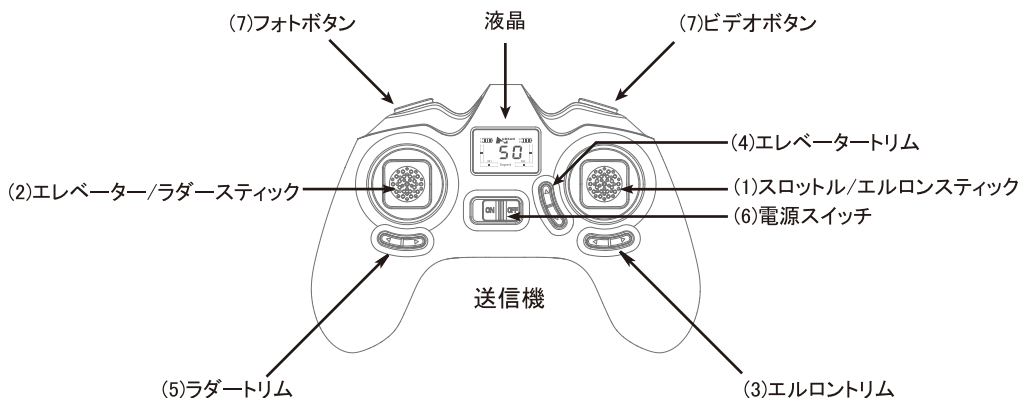
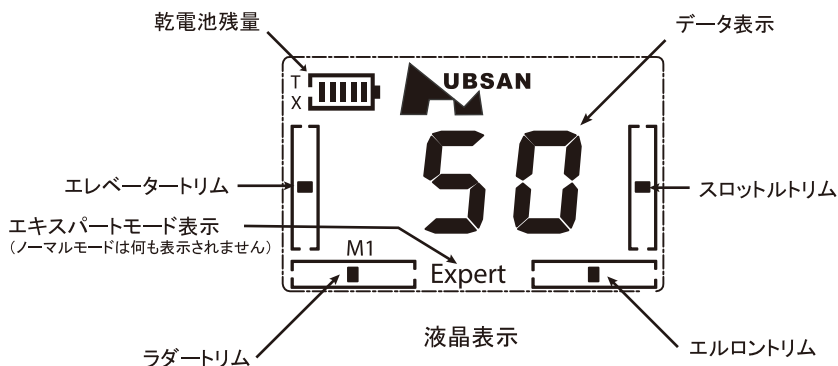
Lipoバッテリーの廃棄について



Lipoバッテリーは家庭ごみとしてそのまま廃棄することは出来ません。
3%～5%位の濃度の食塩水に約2週間程度沈めて放電し、容量がゼロになっていることを確認してからお住まいの地方自治体のルールに則り廃棄をお願いします。

5 送信機操作説明

5.1 各部名称と表示説明 (MODE1時)

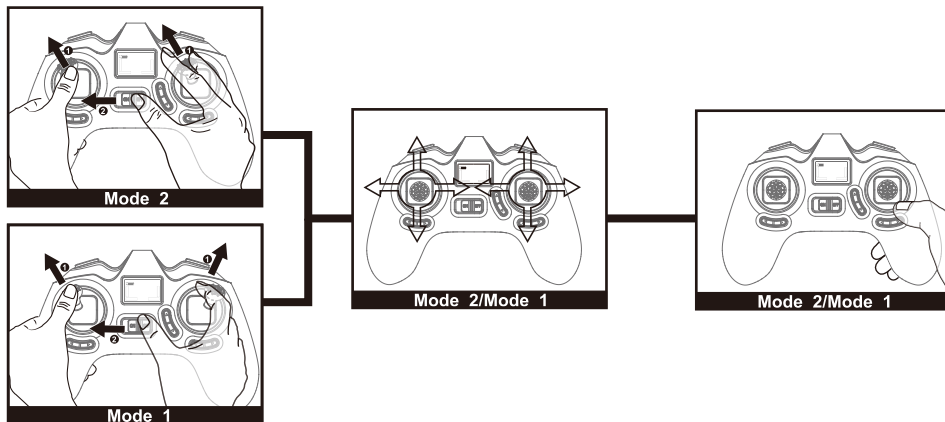


送信機操作/機能説明

	操作	機能
1	スロットル/エルロンスティック	スティックの上下で上昇・下降を操作します。 空中でスティックを離すとその場で高度を維持します。 スティックの左右で左右の水平移動を操作します。
2	エレベーター/ラダースティック	スティックの上下で前進・後退を操作します。 スティックの左右で左回転・右回転を操作します。
3	エルロントリム	ホバリング中に機体が左右どちらかに水平移動してしまう場合、 移動する方向とは逆に押し調整します。
4	エレベータートリム	ホバリング中に機体が前後どちらかに移動してしまう場合、 移動する方向とは逆に押し調整します。
5	ラダートリム	ホバリング中に機体が左右どちらかに回転してしまう場合、 回転する方向とは逆に押し調整します。
6	電源スイッチ	ON側にする事で電源が入ります。 使用しない時は必ずOFFするをお願いします。
7	フォト/ビデオボタン	フォトボタンを押すと写真が撮れます。 ビデオボタンを押すと録画がスタートします、再度ビデオボタンを押すことで録画を終了します。

5.2 送信機MODE変更

以下の操作を行うことで任意にMODE1/MODE2の変更が可能です。

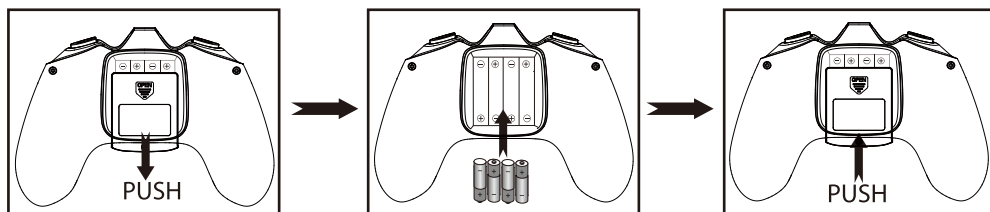


- ① MODE1(出荷状態): 左スティックを左上、右スティックを右上に押したまま電源を入れます。
MODE2 : 左スティックを左上、右スティックを左上に押したまま電源を入れます。
- ② 左右のスティックを
 1. 一番下 → 一番上まで上下にゆっくり2回転かします。
 2. 一番左 → 一番右まで左右にゆっくり2回転かします。
- ③ 右のスティックを上から **UBSAN** マークが点滅するまで押し込みます。
電源を入れなおし、液晶の M1 もしくは M2 表示が任意のものに変わっているかご確認下さい。

※ 設定変更後はフライト前に、スロットルの最小値が”0”である事を確認して下さい。
スロットルの最小値が”0”以外の場合は、再度上記の操作をお願いします。

5.3 送信機への乾電池の入れ方

⚠ 新/旧残量の異なる電池や、違う種類/ブランドの電池を混ぜないで下さい。誤動作の原因となります。



カバーの”OPEN”を押しながら下に引き抜きます

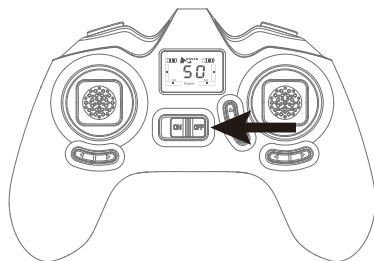
単4乾電池 4本使用します。
+-の極性に合わせて入れて下さい。

カバーを元に戻します。
しっかりと爪が噛み合う位置まで戻して下さい。

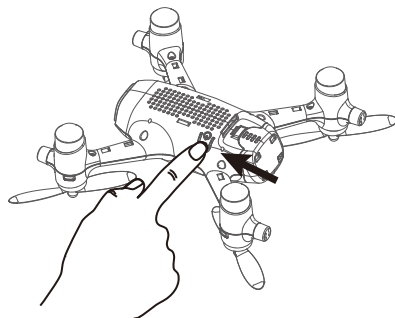
6 フライトを始める

6.1 ペアリング

6.1.1 送信機の電源を入れます。
この時スティックやトリムボタンは操作しないで下さい。



6.1.2 バッテリーがしっかりと収納されていることを確認し、
機体の裏面にある電源ボタン2秒間押し続けて下さい。
電源ボタンを押した後は水平な場所に置いて下さい。
傾いた状態でのペアリングはドリフトの原因となります。

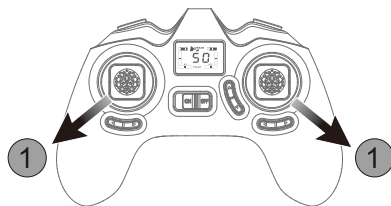


6.1.3 送信機からビーブ音が鳴った後、機体全てのLEDが点灯すればペアリングは完了です。

6.2 モーターの回転と停止

モーターの回転と停止は左右2本のスティックを使い操作します。
。

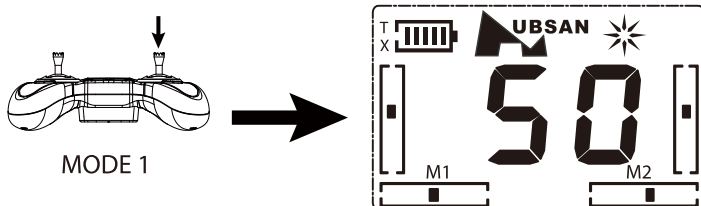
左図のように、左スティックは左下、右スティックは右下を同時
に行って下さい。



モーターが回転をしている時は絶対に送信機の電源を切らないで下さい。

6.3 ヘッドレスモード

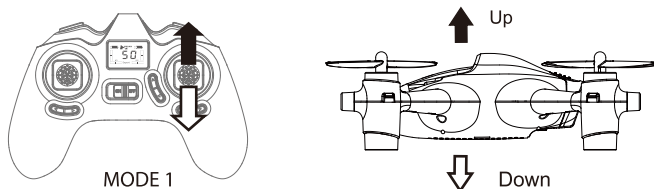
ヘッドレスモードでは機体が向いている方向に関係なく、操縦者から見た方向に機体が動きます。ヘッドレスモード時は送信機の液晶に※マークが現れ機体前方の青LEDが点滅します。



右スティックを上から1回押し込むと送信機から2回ピープ音が鳴り、ヘッドレスモードが有効になります。再度右スティックを上から押し込むと1回ピープ音が鳴り、ヘッドレスモードが解除されます。

6.4 機体の操作方法

注意： 思わぬ事故や機体ロストを防ぐ為、スロットルはゆっくり操作するよう注意して下さい。



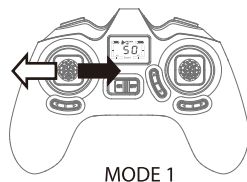
スロットルスティック(右スティック)を上にあげると機体が上昇します。

スティックを離すとセンターに戻り、その場で高度を維持します。

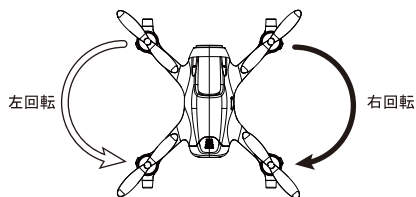
(注意: フライトし始めはスロットルをセンターに戻しても気圧検出のため多少上昇下降を繰り返しますが、その後安定します。)

スロットルスティックを下にさげると機体は下降します。

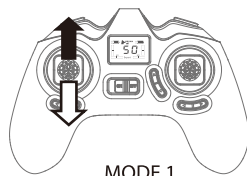
(注意: 着陸した後もプロペラの回転が止まるまでスロットルスティックは下に入れ続けて下さい。)



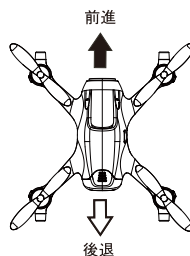
MODE 1



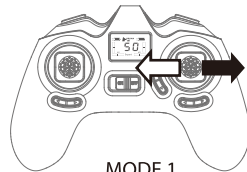
左スティックを左右に操作すると、左回転/右回転を行います。



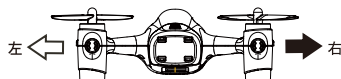
MODE 1



左スティックを前後に操作すると、前進/後退を行います。

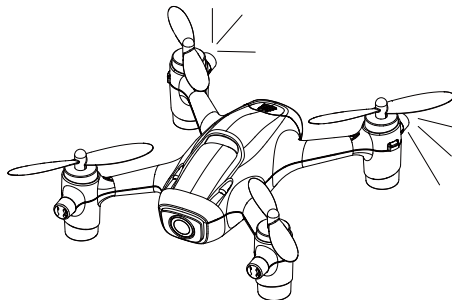


MODE 1



右スティックを左右に操作すると、左右水平移動を行います。

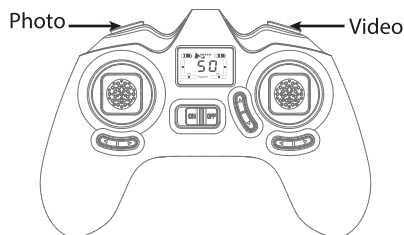
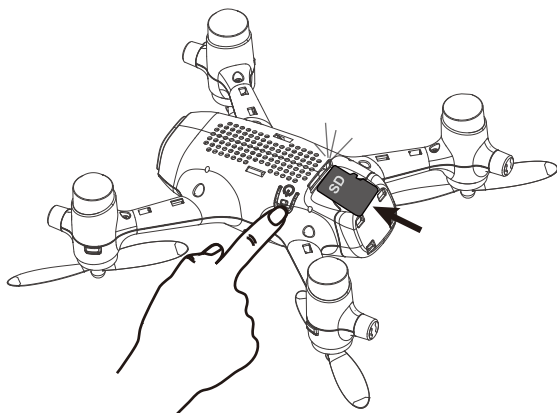
バッテリーアラーム:後部の赤LEDが同時に点滅し出したら電圧低下のサインです。
早急に着陸させ充電を行って下さい。



7 カメラの使い方

7.1 ビデオ録画方法

- 7.1.1 microSDカードを挿入してから電源を入れ送信機とペアリングを行います。
機体全てのLEDが点灯状態になれば準備は完了です。
- 7.1.2 送信機のビデオボタンを押すと録画が開始されます。
開始されると後部の赤LEDが交互に点滅し、録画中であることを示します。
- 7.1.3 再度ビデオボタンを押すと録画を終了します。
後部赤LEDの点滅が終わるまでは電源を切ったり、microSDカードを抜かないで下さい。
microSDカードへの書込が正常に終わらずファイルが破損する可能性があります。



7.2 写真撮影方法

- 7.2.1 microSDカードを挿入してから電源を入れ送信機とペアリングを行います。
機体全てのLEDが点灯状態になれば準備は完了です。
- 7.2.2 送信機のフォトボタンを押すと後部の赤LEDが1回点滅し写真が撮れます。

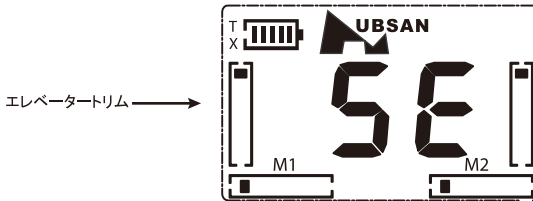
* 必ず電源を切ってからmicroSDカードを抜いて下さい。

8 アドバンス設定

8.1 リバース設定（※ 通常行う必要はありません）

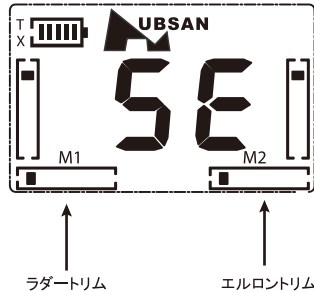
8.1.1 エレベーターリバース

1. スロットルスティックを一番下に引きます。
2. エレベータースティックを1秒間程上から押し続けると液晶に"SE"と表示されます。
3. 送信機のエレベータートリムボタンを押し、エレベータートリムのドットが逆に移動する事を確認して下さい。
4. エレベータースティックを2秒間上から押し込み、液晶が通常表示に戻れば完了です。



8.1.2 ラダー/エルロンリバース

1. スロットルスティックを一番下に引きます。
2. エレベータースティックを1秒間程上から押し続けると液晶に"SE"と表示されます。
3. 送信機のラダー、またはエルロントリムボタンを押し、トリムのドットが逆に移動する事を確認して下さい。
4. エレベータースティックを2秒間上から押し込み、液晶が通常表示に戻れば完了です。



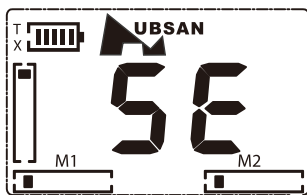
8.2 フライトモードの切り替え

X4はノーマルモードで出荷されており、毎回ノーマルモードで起動します。
より高い運動能力をお求めの場合はエキスパートモードをお試し下さい。

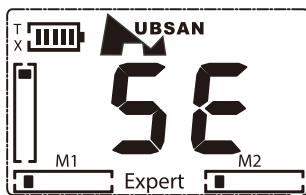
切り替えはペアリング後エレベータースティックを1回押して下さい。
エレベータースティックを押す毎にノーマル/エキスパートが切り替わります。

2ビープ音はエキスパートモード、1ビープ音はノーマルモードを示しています。

エキスパートモード時は液晶に”Expert”と表示されます。



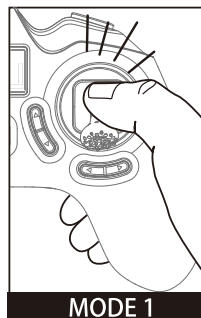
ノーマルモード



エキスパートモード

8.3 スティック感度調整

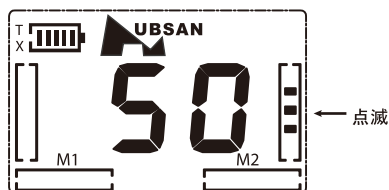
1. スロットルスティックを一番下にさげます。
2. エレベータースティックを1秒間程上から押し続けます
液晶に”SE”と表示されます。
3. スロットルスティックを下に下げたまま上から1回押します。
3点ドットが現れ点滅します。(下図a)
スロットルスティックを押す毎に別チャンネル(下図a,b,c)へ
切り替わります。
4. トリムボタンを使い、各チャンネルで値を増減させて下さい。



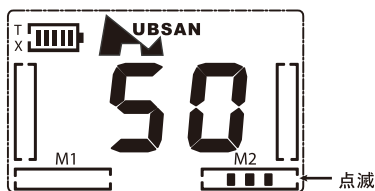
ノーマルモードの感度調整は20～60の範囲で行います。



(a) ラダー感度調整



(b) エレベーター感度調整

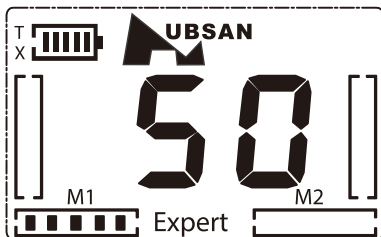


(c) エルロン感度調整

同じ手順でエキスパートモードの感度調整も行えます。

各チャンネルでエレベータースティックを上から1回押すといつでもノーマル/エキスパートの切り替えができます。

エキスパートモードの感度調整は60～100の範囲で行います。



3点ドット: ノーマルモード 20～60



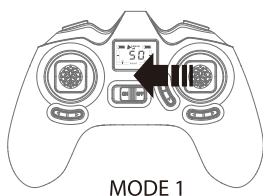
5点ドット: エキスパートモード 60～100

8.4 エアリアルフリップ

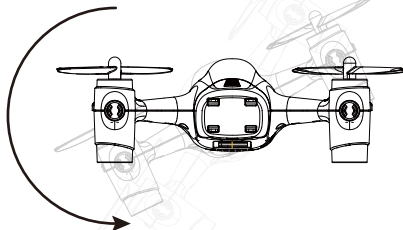
1秒間右スティック押し続けると連続したビーブ音が鳴り、フリップモードに入ったことを案内します。このビーブ音は2秒間持続しますので、この間に以下のスティック操作を行って下さい。

8.4.1 左サイドフリップ

右スティックを左に入れます。その後スティックをセンターに戻すと左サイドフリップを行います。

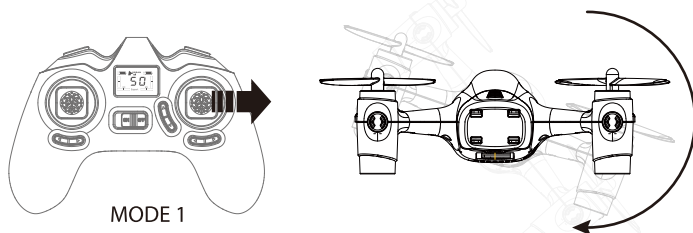


MODE 1



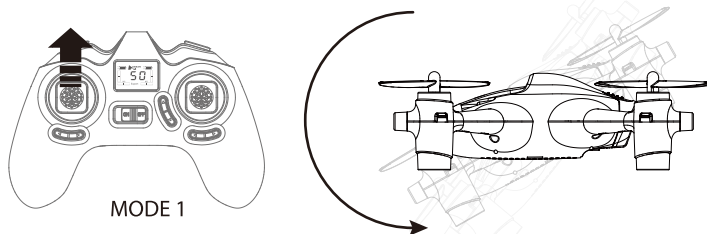
8.4.2 右サイドフリップ

右スティックを右に入れます。その後スティックをセンターに戻すと右サイドフリップを行います。



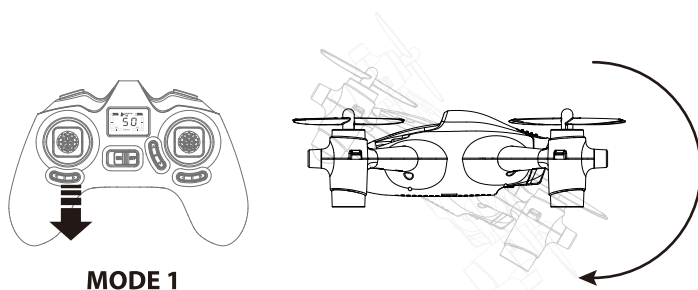
8.4.3 フロントフリップ

左スティックを上に入れます。その後スティックをセンターに戻すとフロントフリップを行います。



8.4.4 バックフリップ

左スティックを下に入れます。その後スティックをセンターに戻すとバックフリップを行います。



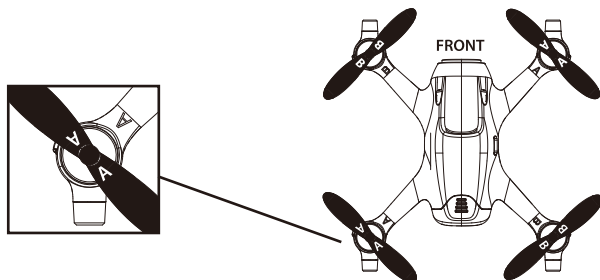
 バッテリー残量が低い時はフリップすることが出来ません。

9 プロペラ交換方法

X4のプロペラは全て同じ物ではありません。

角度の違う2種類があり、AまたはBと区別されています。

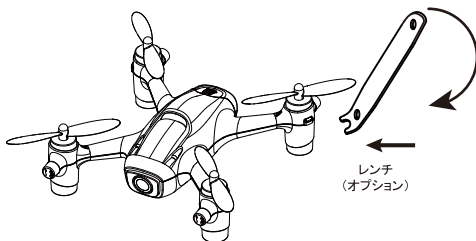
プロペラを交換する際は機体に刻印されているA/Bと、プロペラに刻印されているA/Bを合わせて交換して下さい。



プロペラの取り外し:

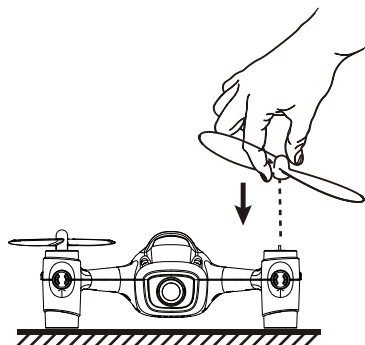
機体を手でおさえ、プロペラを真上に向かって引き抜いて下さい。

オプションのレンチをお使い頂くと簡単に取り外すことができます。

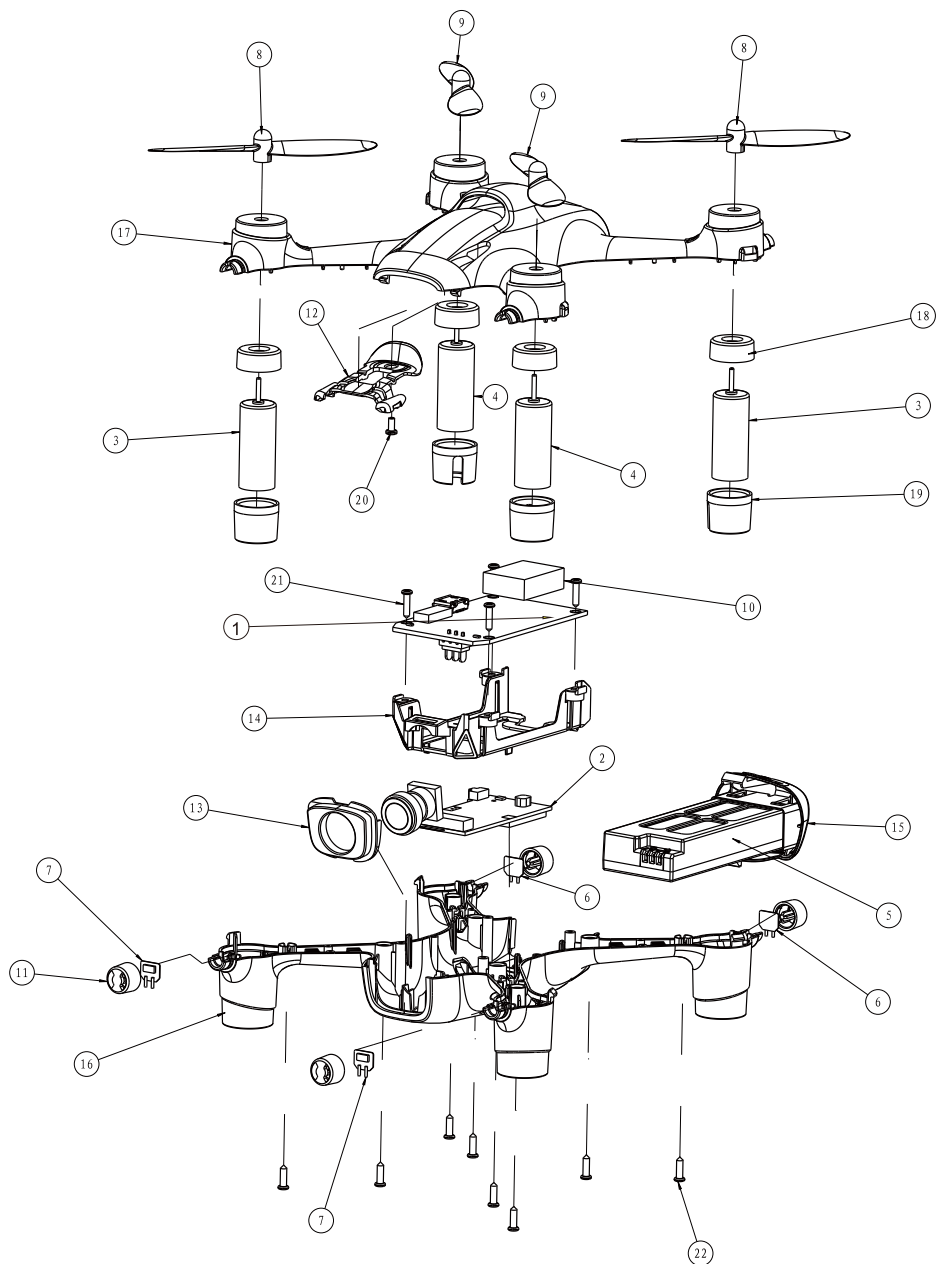


プロペラの取り付け:

プロペラの中心を持ち、モーターシャフトに対して真上から押し込んで下さい。



10 分解图



No	パーツ名	QTY	No	PART NAME	QTY
1	受信機	1	13	レンズカバー	1
2	カメラモジュール	1	14	バッテリーホルダー	1
3	正回転モーター	2	15	バッテリーカバー	1
4	反回転モーター	2	16	ロアーボディ	1
5	Lipoバッテリー	1	17	アッパーボディ	1
6	レッドLED	2	18	モーターアッパーラバーセット	4
7	ブルーLED	2	19	モーターロアーラバーセット	4
8	プロペラ(A)	2	20	スクリュー	1
9	プロペラ(B)	2	21	スクリュー	4
10	気圧センサ用スポンジ	1	22	スクリュー	8
11	LEDカバー	4			
12	LEDフード	2			

11 トラブルシューティング

1. ペアリングがうまく出来ません

送信機、機体ともに電源を切り最初からやり直して下さい。

送信機電源入れた後はペアリングが終わるまでスティックやトリムは操作しないで下さい。

2. 送信機の液晶が突然消えます

送信機の乾電池を交換して下さい。

3. エレベータースティック2秒間押し続けても設定画面が表示されていません

スロットルスティックが一番下まで下がっているか確認下さい

4. ジャイロセンサがうまく機能していないようだ

以下の3つをご確認下さい。

(1) バッテリー電圧が低い可能性があります、充電して下さい。

(2) 電源を切り、再度ペアリングを行って下さい。

(3) 加速度センサの初期化(トラブルシューティング:11参照)を行って下さい。

5. フリップが出来ません

(1) フリップモードに入るために1秒間スロットルスティックを押したままにします。送信機からビーブ音が鳴っている時にフリップが可能です。

(2) バッテリー電圧が低い可能性があります、充電して下さい。

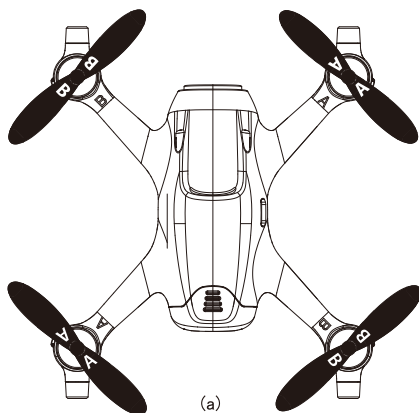
6. フライト中、フラつきとノイズが大きいに感じます

モーター軸の異物や、プロペラに問題がないか確認して下さい。

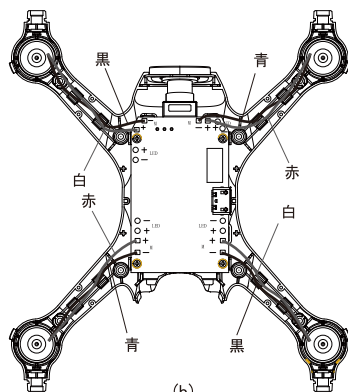
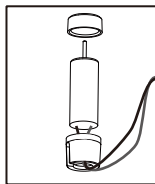
7. 離陸することが出来ません

(1) 各プロペラには、「A: 時計回り」と「B: 反時計回り」があります。下図(a)を参照し上から見てAとBが正しく合っているか確認して下さい。

(2) 各モータには「正回転」と「反回転」の2種類があります。モーター交換を行っている場合は下図(b)を参照しモーターコードの色と位置を確認して下さい。



(a)



(b)

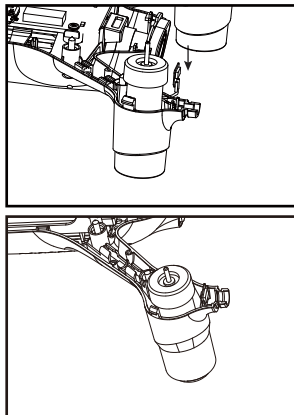
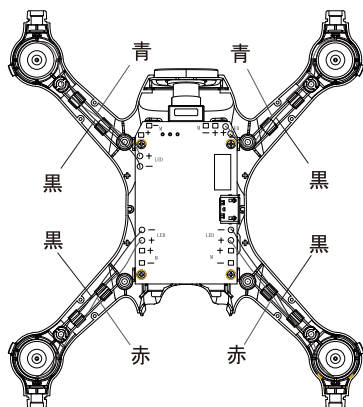
8. LEDライトの取外しと取り付け

取外し：裏側のネジを全て外し、LEDカバー4箇所外した後、アッパーボディを取り外します。
LEDユニットのコードは受信機にハンダ付けされているので、ハンダ作業で取り外すかニッパー等でカットして下さい。

(※ LEDユニットのワイヤはとても細いので慎重に作業して下さい)

取り付け：下図を参照し、各コードを元の場所へハンダ付けしてください。

(※ コードの色、+の極性にご注意下さい)



9. 墜落後モーターが回らなくなった

異物が絡まっていれば取り除き、プロペラの上からモーターを押し込んで下さい。改善されない場合モーター交換が必要です。

10. 一つのモーターが動かなくなりました

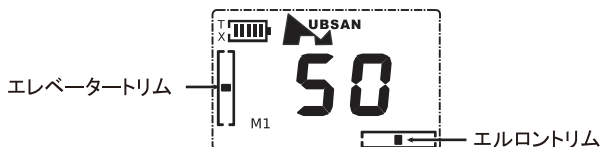
モーターがスムーズに回るかどうか指で回してみてください。固くなっている場合はモーター交換の必要があります。回転が正常な場合は分解し、モーターの配線が切れていないか確認をお願いします。配線にも異常がない場合は受信機、またはモーターの異常が考えられます。

11. 常にある方向にドリフトします

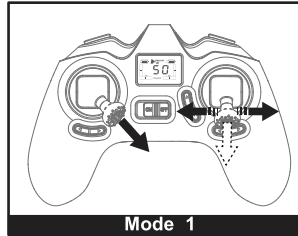
以下の方法で加速度センサの初期化(キャリブレーション)を行って下さい。

1) キャリブレーションを実行する前に、プロペラ、モーター、バッテリーが良好な状態であることを確認して下さい。バッテリーはP10の画像を参照し、が正しく挿入されていることを確認してください。
X4と送信機をペアリングし、エキスパートモードに設定します。

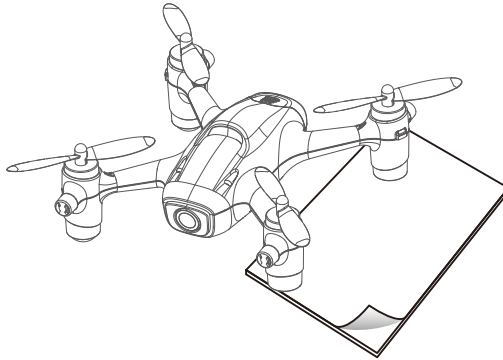
2) 送信機の数字が50になっている事を確認し、エレベータートリムとエルロントリムを中立に合わせして下さい。



3) 左スティックを右下に入れたまま右スティックを左下⇄右下をLEDライトが点滅するまで数回動かします。LEDライトが点滅すればキャリブレーションは完了です。



4) もし、キャリブレーション実行後も片側にドリフトする場合、ドリフトする側に紙を数枚敷いてキャリブレーションを行って下さい。(ドリフトの量に応じて紙の増減をお試し下さい)



13. カメラの録画ができない

1) X4は2～16G, Class4～6のmicroSDHCカードに対応しています。

それ以外のものは使用しないで下さい。

2) カメラユニットが壊れている可能性があります。カメラユニットを交換して下さい。

12 スペアパーツリスト



H107C+-01
ボディセット



H107C+-02
バッテリーセット



H107C+-03
カメラモジュール



H107C+-04
リンクージケーブル



H107C+-05
スクリューセット



H107D+-02
プロペラセット



H107D+-03
モーターセット



H107D+-05
ブルーLED



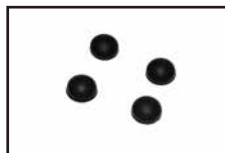
H107D+-06
レッドLED



H107D+-07
受信機



H107D+-10
モーターラバーセット



H107D+-11
ラバーフット



H107D+-14
充電ケーブル



H107C+-06
クラッシュパッド



H107C+-07
送信機



61009
レンズ

■製品保証について

ご購入頂いた際の日付入りレシートや納品書は初期不良等が発生した場合、商品の交換に必要となりますので、必ず保管してください。本製品は製品の性質上、ご購入直後(2週間以内)の動作確認時に認められる不良以外、返品・交換はお受けすることが出来ません。

※いかなる場合におきましても飛行後の返品・交換はお受け致しません。商品に異常がある場合は一度弊社カスタマーサービスにご連絡いただき、それでも症状が改善しない場合はヤマト運輸、着払いにて弊社宛てにお送りください。初期不良と判断された場合、弊社の判断にて修理または交換作業を行います。弊社では本製品に関して修理サービスを行っておりますが、万が一機体を大きく破損されてしまった場合は新品交換保証制度にも対応しておりますのでこちらをご検討ください。

■壊れても安心、超お得な新品交換保証付き

○何度も遊んでいる内に各所に不具合が出てきた・・・。

○墜落させて機体が大破、新品を買おうかな・・・。

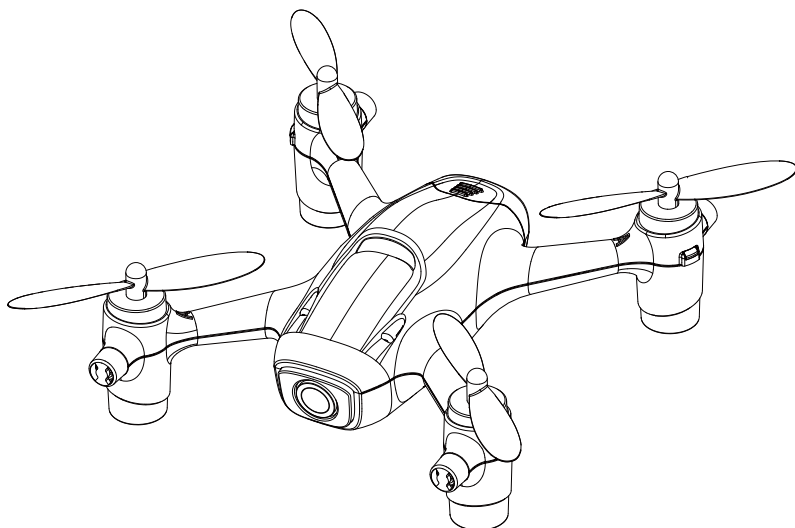
そんな時は一部金額をご負担頂くだけで機体から付属品までを丸ごと新品と交換できる”新品交換保障”をご利用ください。ご希望のお客様はお気軽にカスタマーサービスへご連絡ください。

また、機体の修理に関してましても弊社カスタマーサービスへご相談下さい。

■免責事項

- ・弊社はお客様のフライトにおける損失・事故等にはいかなる保障も致しかねます。
- ・組み立て飛行後における製品の不良対応はお受けすることができません。
- ・誤ったご使用による製品の不具合は保証対象外となります。
- ・本製品は品質向上の為、予告なく仕様を変更する場合があります、予めご了承ください。
- ・弊社はリチウムポリマーバッテリーご使用による損失・事故等にはいかなる保障も致しかねます。

MEMO



◎輸入販売元・お問い合わせ
〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F
株式会社 ハイテック マルチプレックス ジャパン

サポートダイヤル: 050-5519-4989
受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)
10:30～12:30、13:30～16:30

www.hitecrd.co.jp

当製品のお問い合わせはカスタマーサービス専用ダイヤルまでお願い致します
お電話でのご注文は承る事ができませんので予めご了承の程お願い致します